



2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月13日

上場会社名 日本和装ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2499 URL <https://www.wasou.com/profile/ir/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 道面 義雄
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 鶴野 尚史 TEL 03-5843-0097
 四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 2023年12月11日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	3,325	△6.2	236	△20.0	200	△30.5	100	△35.6
2022年12月期第3四半期	3,544	—	296	21.7	288	15.1	156	5.2

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 112百万円 (△36.7%) 2022年12月期第3四半期 177百万円 (15.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	11.13	—
2022年12月期第3四半期	17.29	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 2022年12月期第3四半期の売上高については、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用した影響により、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	9,161	3,419	37.3
2022年12月期	8,803	3,397	38.6

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 3,419百万円 2022年12月期 3,397百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	3.00	3.00	3.00	4.00	13.00
2023年12月期	3.00	3.00	3.00		
2023年12月期（予想）				5.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

2023年12月期（予想）期末配当金の内訳 普通配当 4円00銭 記念配当 1円00銭

3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,461	△6.5	299	△28.7	257	△34.4	132	△44.1	14.60

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

連結業績予想の修正については、本日（2023年11月13日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期3Q	9,134,000株	2022年12月期	9,134,000株
② 期末自己株式数	2023年12月期3Q	68,400株	2022年12月期	68,400株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期3Q	9,065,600株	2022年12月期3Q	9,065,600株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が収束しつつある中、人流及びインバウンドの増加により社会経済活動の正常化が徐々に進み、緩やかな回復傾向がみられています。しかしながら、不安定な国際情勢の長期化、エネルギー価格や原材料価格の高騰、世界的に進む政策金利の見直しによる金融資本市場の変動リスク等があり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社においては、受講料無料のきもの着付け教室を毎年春と秋に開講しておりますが、この夏、初めて本格展開いたしました新規受講者対象の「夏の着付け教室」が好評を博し、400名を超える新規顧客の獲得が実現いたしました。また、8月より新イメージキャラクターに吉瀬美智子さんを採用し、秋の受講者募集を行いました。今期は、SNSやネット広告を活用し、新規顧客獲得に向けて、様々な角度から集客のアプローチを行っております。

イベント等においては、毎年恒例の「きものブリリアンツ全国大会」を8月に帝国ホテル東京にて開催いたしました。2日間でのべ1,000名以上のお客様にご参加いただき、過去最多の来場者数を達成し、受注は好調に推移いたしました。その他にも、本年創業40周年を迎えた当社と創刊70周年を迎えた婦人画報の雑誌「美しいキモノ」とのコラボ企画「ニッポンきもの総選挙」を8月下旬より開催しております。「美しいキモノ」のバックナンバーより編集長厳選20冊の表紙の中から当社のお客様（卒業生）が投票を行い、表紙No1を決める企画となっております。本イベントにきもんでご来場された方には、プロのカメラマンが撮影した写真をお渡しし、更の中より選ばれた方は「美しいキモノ」に写真が掲載されるなどの特典をご用意いたしました。貴重な特典に多くのお客様より喜びの声をいただいております。しかしながら一方で、足元では円安や物価高が進行し、お客様の消費マインドの冷え込み等による買い控えの影響により売上高が減少いたしました。また、利益面では、経費節減等に努めましたが、減収に伴う減益となりました。

このような状況の中、当社グループといたしましては、今後も継続して教室に通っていただけるようフォローアップ体制を盤石にし、顧客数の獲得に注力してまいります。また、新たな販売チャネルとして今冬のリリースに向けて準備を進めているEC事業では、これまで当社グループが手掛けてこなかった浴衣や洗えるきもの、手軽でリーズナブルな和装品の販売を行い、当社メインブランドよりも低年齢層となる20代から40代をターゲットとして市場や新規顧客を獲得してまいります。将来的には、オリジナル商品の開発や、和に関わる幅広いコンテンツの展開も予定しており、ECサイトをきっかけとし、当社の販売仲介をご利用いただけるような仕組みの確立を目指してまいります。今後も、引き続き当社のビジネスモデルの要である受講料無料のきもの着付け教室運営を軸として様々なイベントを展開し、業績の向上に努めてまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における経営成績につきましては、売上高3,325百万円（前年同四半期比6.2%減）、営業利益236百万円（前年同四半期比20.0%減）、経常利益200百万円（前年同四半期比30.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益100百万円（前年同四半期比35.6%減）となりました。

なお、当社グループは、和服及び和装品の販売仲介を中心としたきもの関連事業の単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けた記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は8,839百万円となり、前連結会計年度末に比べ397百万円増加いたしました。これは主に割賦売掛金が503百万円増加した一方で、その他が129百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は322百万円となり、前連結会計年度末に比べ39百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が11百万円及び投資その他の資産が29百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、9,161百万円となり、前連結会計年度末に比べ358百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は3,394百万円となり、前連結会計年度末に比べ127百万円増加いたしました。これは主に契約負債が83百万円増加したこと等によるものであります。固定負債は2,347百万円となり、前連結会計年度末に比べ209百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、5,742百万円となり、前連結会計年度末に比べ336百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は3,419百万円となり、前連結会計年度末に比べ21百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益100百万円、剰余金の配当90百万円、為替換算調整勘定の増加7百万円等によるものであります。

この結果、自己資本比率は37.3%（前連結会計年度末は38.6%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間における業績の状況、今後の事業環境等を勘案し、当期の業績予想の見直しを行った結果、2023年2月14日に公表いたしました2023年12月期通期における業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（2023年11月13日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,809,453	2,817,278
営業未収入金	157,875	187,050
割賦売掛金	4,958,211	5,461,657
棚卸資産	113,262	111,868
その他	474,242	344,961
貸倒引当金	△71,182	△83,277
流動資産合計	8,441,862	8,839,539
固定資産		
有形固定資産	144,432	133,031
無形固定資産	13,558	14,969
投資その他の資産	203,694	174,304
固定資産合計	361,685	322,304
資産合計	8,803,548	9,161,844
負債の部		
流動負債		
営業未払金	31,653	43,036
短期借入金	2,384,778	2,359,104
未払法人税等	48,955	25,204
契約負債	315,605	399,007
営業預り金	18,367	38,588
その他	467,851	529,817
流動負債合計	3,267,213	3,394,758
固定負債		
長期借入金	2,129,314	2,337,355
関係会社事業損失引当金	3,098	4,273
その他	6,159	6,000
固定負債合計	2,138,571	2,347,628
負債合計	5,405,784	5,742,387
純資産の部		
株主資本		
資本金	478,198	478,198
資本剰余金	292,211	292,211
利益剰余金	2,638,521	2,648,798
自己株式	△22,629	△22,629
株主資本合計	3,386,302	3,396,578
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△3,180	917
為替換算調整勘定	14,642	21,960
その他の包括利益累計額合計	11,461	22,877
純資産合計	3,397,763	3,419,456
負債純資産合計	8,803,548	9,161,844

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	3,544,412	3,325,047
売上原価	290,160	292,866
売上総利益	3,254,251	3,032,180
販売費及び一般管理費	2,957,840	2,795,185
営業利益	296,411	236,995
営業外収益		
受取利息	812	1,452
助成金収入	6,717	2,248
為替差益	12,821	—
固定資産売却益	—	1,345
その他	1,160	772
営業外収益合計	21,511	5,819
営業外費用		
支払利息	18,700	18,943
支払手数料	10,451	10,523
契約解約損	—	12,775
その他	271	154
営業外費用合計	29,424	42,396
経常利益	288,498	200,417
特別損失		
関係会社事業損失引当金繰入額	—	3,416
特別損失合計	—	3,416
税金等調整前四半期純利益	288,498	197,000
法人税、住民税及び事業税	95,533	79,990
法人税等調整額	36,265	16,077
法人税等合計	131,799	96,068
四半期純利益	156,699	100,932
親会社株主に帰属する四半期純利益	156,699	100,932

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	156,699	100,932
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	750	4,098
為替換算調整勘定	20,165	7,317
その他の包括利益合計	20,916	11,416
四半期包括利益	177,615	112,349
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	177,615	112,349

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループは、和服及び和装品の販売仲介を中心としたきもの関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。